

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月16日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103870		
法人名	有限会社 スローライフ		
事業所名	ぐるうぶほうむ3丁目		
所在地	松山市東野3丁目11-16 (電話) 089-977-0871		
管理者	喜井 茂雅		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年5月9日	評価確定日	平成20年6月16日

【情報提供票より】 (平成20年4月28日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年3月10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	4人, 非常勤 6人, 常勤換算 7.4人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃 (平均月額)	730~900 円 (日割り)	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有 (円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年4月28日現在)			
利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.6 歳	最低 80 歳	最高 98 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

●民家改修型の事業所であり、利用者がこれまで暮らしていた自宅に似たしつらえや雰囲気となるよう気配りをされている。庭にはメダカが泳ぐ池もあり、利用者は四季折々の彩りを楽しんでもらえる。 ●利用者が「困ったことがあったら何でも言って」と職員のことを気にかけてくれることもある。職員は、人生経験豊かな利用者の思いやりや心遣いに学ぶようなことも多い。又、利用者同士も支え合っておられ、何事も互いに納得行くよう話し合われている。 ●今年度から、認知症ケア、コミュニケーション技法、文章作成等、職員の要望等も取り入れた内部研修の年間計画を作成し、全ての職員がスキルアップできるよう取り組まれている。又、日々のケアの中で介護技術について職員同士で学び合っておられる。
--

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目:外部4) ・ 前回の評価結果を受けて、施設長は、職員の働きやすい環境作りに向けて職員の悩みを聞き取られたり、日常生活の中で利用者の役割を見出し、職員が助けてもらうような場面をさらに増やされた。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4) ・ 職員全員が個々に自己評価に取り組み、個別に施設長とともに日々のケアを振り返られた。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目:外部4, 5, 6) ・ 運営推進会議は、利用者を囲んで茶話会のような雰囲気の中、開かれている。事業所の活動を報告されたり、地域の方からは、ご自宅のミカン園の伊予かんを「皆さんでどうぞ採って下さい」と言っていた。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:外部7, 8) ・ 毎月、写真入りのお手紙をご家族に送付し、ご本人の様子や行事の内容、事業所の取り組み等を知らせておられる。ご家族の来訪時等、意見や要望について個別にお話をうかがうようにされている。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目:外部3) ・ 自治会に加入し、利用者とともに回覧板も回しておられる。近所の方から季節の野菜を頂いたり、時に、ご自宅の庭のお花を見に来てくださると誘って下さることもある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 ぐるうぷほうむ3丁目

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名 喜井 茂雅

評価完了日 平成 20 年 4 月 25 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			利用者が、自分らしく今までの生活の継続は行っているが、地域の中での当たり前の生活については、取り組みを行っているところである。	※	全職員に理念という目標を意識付けることにより、現状のサービスに満足することなく、新しい取り組みを志している。地域の中での生活を大切にしていきたい。
			(外部評価)		
			事業所の理念に沿って、利用者一人ひとりが地域の中で「自分が自分として当たり前暮らし」ことを目指し、取り組んでおられる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者は事業所の理念を常時職員に話し、また職員は日々の生活をケアプランに反映する事により、課題点や解決方法を共有している。	※	職員は日々の生活の中で、その日その日実践できる理念への取り組みを心掛けている。
			(外部評価)		
			玄関や居間に理念を掲示されている。管理者は、職員が集まる機会等に、理念に立ち返りケアを実践することの大切さを話しておられる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族の方とは訪問時の対話にて認知症への理解や今後の対応について話を行っている。また地域の方には、運営推進会議により、地域へ浸透できるよう取り組んでいる。	※	運営推進会議を通して、地域の方へ理念の理解が得られるように働きかけている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣の方との日常的なお付き合いはないが、職員や管理者は挨拶は気軽に行っている。	※	今後職員も日常的に外出する事により、近隣の方とのお付き合いを深めていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 事業所は地域の清掃行事や祭りの参加は行っている。	※	地域活動への参加取り組みが始まったといえるが、より一層の参加を行い、地域の一員として活動を続けていきたい。
			(外部評価) 自治会に加入し、利用者とともに回覧板も回しておられる。近所の方から季節の野菜を頂いたり、時に、ご自宅の庭のお花を見に来てくださると誘って下さることもある。	※	事業所では、さらに地域の方達との交流を深め、利用者個々の生活が広がるよう、取り組んでいきたいと考えておられた。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者の方と話をする機会がないため、運営推進委員会にて事業所からの情報発信を行っている。	※	具体的な取り組み内容を職員間にて話し合い、地域の方へ貢献できるように検討していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 運営者、管理者職員は自己評価を行う意味・意義についてミーティングで話を持ち、項目内容については随時話をおこなっている。	※	自己評価は生活を充実するための取り組みの一つであると理解し、定期的な話し合いを継続して具体的な改善を執り行っていく。
			(外部評価) 職員全員が個々に自己評価に取り組み、個別に施設長とともに日々のケアを振り返られた。前回の評価結果を受けて、施設長は、職員の働きやすい環境作りに向けて職員の悩みを聞き取られたり、日常生活の中で利用者の役割を見出し、職員が助けてもらうような場面をさらに増やされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議を定期的に開催しており、意見や助言に対しては随時改善を行い、報告を行っている。	※	平成19年度は6回開催され、地域の中で生活していくために多くの助言をいただいたので、今年度も意見や助言がいただけるよう体制を整えていく。
			(外部評価)		
		運営推進会議は、利用者を囲んで茶話会のような雰囲気の中、開かれている。事業所の活動を報告されたり、地域の方からは、ご自宅のミカン園の伊予かんを「皆さんでどうぞ採って下さい」と言っていたいた。		次回の運営推進会議では、事業所の内部研修の年間計画を配布し、地域の方にも研修会に出席いただけるよう呼びかけたいと考えておられた。	
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			事業者は地区の地域包括センターが開催する地域運営会議に参加し、意見の交流を行っている。また、管理者は市との交流を密に取っており、共にサービスの質の向上に努めている。		
			(外部評価)		
		市の担当者は、運営推進会議時に、介護保険制度について説明して下さった。又、法人代表者は、市や県の主催する研修会の講師として協力をされている。			
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			事業所は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会をもっている。必要な人に対しては活用できる体制にある。	※	職員は学ぶ機会はあるが、十分な活用が出来るように学習を深めていきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員は虐待防止について、定期的な話し合いで理解を深めている。	※	虐待防止について、今以上に学習の機会を増やし、常時念頭に置きサービスの提供が行えるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)		
			契約時および解約時には家族への説明を十分に行い、家族等の不安や疑問は随時話しあい、理解や不安の解消に努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			利用者との個別に聞き取り、意見、不満、苦情からより良い生活を支えるための運営に反映させている。	※	利用者からの視点でアセスメントをおこない、介護計画を立案し、よりよい生活にする為に取組んで生きたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価)		
			事業所は毎月写真入りのお手紙を作成し、家族に送付している。		
			(外部評価)		
			毎月、写真入りのお手紙をご家族に送付し、ご本人の様子や行事の内容、事業所の取り組み等を知らせておられる。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			家族ら個別に対応し運営に反映している。		
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時等、意見や要望について個別にお話をうかがうようにされている。	※	さらに、事業所では、バザー等の行事をご家族と一緒に企画し、開催することを検討されている。ご家族との関係をさらに深めていけるような取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			毎月ミーティングを行い、意見や提案を運営に反映している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			日中活動性の高い利用者にあわせ、手厚い職員配置を行っている。また諸事情にあわせ職員間での協議、調節を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			入職時のオリエンテーションを行い、離職を最小限に取り組んでいる。	※	入職時以外にも定期的に職員との面談をはかり、離職率の低下を図るようにしていきたい。
			(外部評価)		
			施設長が職員の悩み等を聞き取っておられる。新人の職員を利用者やご家族の来訪時に紹介されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			毎月のミーティングのときに研修機会を持っている。	※	職員の不安や疑問にもいつでも相談できる体制を構築していく。また年間を通して研修を行い、育成に努めていく。
			(外部評価)		
			今年度から、認知症ケア、コミュニケーション技法、文章作成等、職員の要望等も取り入れた内部研修の年間計画を作成し、全ての職員がスキルアップできるよう取り組まれている。又、日々のケアの中で介護技術について職員同士で学び合っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			愛媛県グループホーム連絡協議会が主催する相互研修事業への参加により、ネットワークや交流が図れる機会を設けている。また他事業の研修も積極的に取り入れ、質の向上に努めている。		
			(外部評価)		
			地域の他事業所との花見交流会には、利用者全員が参加され楽しまれた。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			各職員との対話によりストレス軽減に努めている。	※	職員が一休憩する場所や時間については検討中である。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			各職員との個別面談により、個々の努力や実績を把握し、健康上の不安を軽減し安心安全に就労できるよう、年1回の健康診断を行っている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前面談により、ご本人とご家族の思いや情報収集を行っている。入居におけるリロケーションダメージを最小に出来るよう支援している。	※	全職員が、入居前から信頼関係が築けるように関係作りを行えるよう、入居時面談への同行設定を検討中である。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前面談により、ご本人とご家族の思いや情報収集を行っている。入居におけるリロケーションダメージを最小に出来るよう支援している。	※	全職員が、入居前から信頼関係が築けるように関係作りを行えるよう、入居時面談への同行設定を検討中である。
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居相談時にご本人およびご家族のご意向や支援について、十分に把握し、必要に応じ近隣のケアマネジャーや地域包括支援センターとともに対応できるよう、体制づくりは整備されている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) サービス開始前にはご本人、ご家族に見学に来ていただき、新しい生活に安心感を持てるよう支援している。また管理者も何度か本人と事前面談をさせていただき、安心感をより一層深いものとしている。	※	ホームに何度か遊びに来ていただく事により、利用者同士の交流を深め、入居時には安心してサービス開始が行えるよう取り組みを行っている。
			(外部評価) 民家改修型の事業所であり、利用者がこれまで暮らしていた自宅に似たしつらえや雰囲気となるよう気配りをされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日常生活を利用者と共に行い、掃除、食事、洗濯や買い物など生活の知恵を伝授していただき、職員は利用者から貴重な学びの機会を得ている。	※	職員は利用者から、常に学ぶという姿勢を心掛けることにより更なる共に支えあう関係構築に努めていきたい。
			(外部評価) 利用者が「困ったことがあったら何でも言って」と職員のことを気にかけてくれることもある。職員は、人生経験豊かな利用者の思いやりや心遣いに学ぶようなことも多い。又、利用者同士も支え合っておられ、何事も互いに納得行くよう話し合われている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々の生活について、毎月の手紙や面会時の対話において、ご本人を支えるために話し合いをしている。	※	家族との関係構築を良好なものとする為に、事業所と家族合同の行事開催を昨年度に継続して検討中である。
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族の諸事情を考慮し関係性の支援ために個別に行っている。	※	諸事情を考慮しご本人とご家族の関係性の支援について、個別に検討していく。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 今まで利用していた美容院を継続利用されたり、ご本人の自宅清掃など継続していけるように支援している。	※	さらなる個別支援として、ご本人の想い、希望がかなえられるようアセスメントを行い、支えとなるよう支援していきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係性を理解し、日常の中で交流や共に行う家事が出来るよう支援を行っている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了時の関わりについては、終了後の継続した支援は行われていない。	※	契約終了時の話し合いを持つ事など、継続した関わりが持てるよう検討している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			各利用者の思いや暮らしが把握できるよう個別の聞き取りを行っている。	※	個別の聞き取り内容を全職員に周知し、全職員でかなえられるように取り組みを行っている。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の言葉に耳を傾けることを大切にし、日々のかかわりの中で思いや希望を汲み取れるよう努めておられる。センター方式のアセスメントシートを活用し、利用者個々の情報を共有されている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの生活歴について、入居前情報収集や日常の中で、ご本人からお話を聞いたり、家族から聞き取るなど把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			職員は日常の生活の中で、利用者の生活の様子や、有存機能や気持ちの変化等把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			職員は、常日頃話すご本人の想いをケア計画に反映し、職員間で共有するための話し合いを持ち、それぞれの意見が反映された介護計画を作成している。	※	ご本人のご意向を反映させるケア計画となるよう、更なる取り組みを行う。
			(外部評価)		
			「自分が自分でない」「部屋が片づかないのよ」「一人でお風呂に入りたい」等、その時々の利用者の思いや言葉を反映し、本人の困っていることを解決できるよう、利用者本位の介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			介護計画を1月単位として、利用者の状態変化について 密な情報収集をおこない、状態変化に対応している。		
			(外部評価)		
		介護計画は、1ヶ月毎に見直すようにされており、利 用者個々の状態変化に応じて随時見直しされている。			
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			利用者ごとのファイルがあり、個別記録を行ってい る。また、記録からの情報を共有している。	※	利用者の日々の生活と職員のサービスが記録に反映さ れ、また実践にも反映されるよう随時話し合いをして いる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			ご本人やご家族の状況に合わせ柔軟な対応を行ってい る。また、医療連携体制によりご本人の体調管理およ び体調変化への対応を行っている。		
			(外部評価)		
		美容院やリハビリ、受診へ職員が同行する等、ご本人 やご家族のご事情に合わせて支援されている。利用者 お気に入りの演歌歌手のコンサートに職員が付き添わ れ、楽しまれたこともある。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ご本人のご意向に沿い、警察の方との電話での話し合いに対応していただいている。	※	地域資源の活用や、ボランティアの協同支援について検討中である。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在他のサービス利用はないが、ご本人のご希望にあわせ対応できる体制作りをしている。	※	利用できるサービス内容や種類を検討している。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括センターの職員の方が出席していただいております、交流がもてるようになっている。また、地域包括センターが開催する地域ケア会議に参加し、協力体制は取れている。	※	利用者の意向や必要性に応じ、地域包括支援センターとの協働により、今以上に利用者や地域の方にひらかれたホームになるよう努力し関係を強化していきたい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ご本人が希望しかつ信頼されているかかりつけ医の診察が受けられる体制があり、ご家族と共に受診されたり、職員が同行したりと適切な医療が受けられるように支援している。		
			(外部評価) ご本人の普段の健康状態が分かるような書類を作成し、医療機関と情報を共有されている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師との協力医療契約を結び診察や、治療、相談に応じていただける体制が或る。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
			利用者に関係構築されている看護職の雇用により、日常生活管理および急変時の対応がなされ、状態変化の相談など行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
			利用者が入院した場合には、入院先の病院関係者や担当医との話し合いを持ち、安心して療養させ早期退院や退院後の援助について協働体制が取れている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)		
			ご本人やご家族のご意向を尊重し、終末期にはその都度話し合いを持っている。また、管理者は関係者との連絡を密に取り情報の共有に努めている。		
			(外部評価)		
			重度化、看取り時の支援については、利用契約時に事業所の指針等に沿って説明されている。又、日々の中で、ご本人の希望を聞き取られたり、状況に応じて、ご家族とも随時話し合われている。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		
			ご本人やご家族のご意向を尊重し、終末期にはその都度話し合いを持ち、緊急時には対応していただける医療機関の確保している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
			利用者が他事業者などに移り住む場合は、ご家族および他事業者と、サービス提供状況や留意点等情報交換を行い、リロケーションダメージを最小限に抑えるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			常日頃より、個人情報の取り扱いおよびプライバシー尊重する言葉かけや対応について話し合いの機会は持っている。	※	常日頃のかかわり方や声掛けすべてがプライバシーの確保が出来ているとは限らず、研修や振り返りを繰り返す事によりプライバシー確保の徹底をしていきたい。
			(外部評価)		
			職員は、「自分がされたり言われて嫌なことはしない、言わない」ということに心がけ、利用者に接しておられる。調査訪問時、笑顔で利用者と視線を合わせて話しておられる職員の様子がうかがえた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			個別性を考慮しながら、利用者へ選択性を持たせる声掛けを行い、自己決定の支援に努めている。	※	日常生活全てにおいて自己決定するには至らず、職員の決定事項に意志や行動を任す場面も多々ある。利用者が自己決定できる環境提供を行っていきたい。
			(外部評価)		
			各利用者の一日の過ごし方に応じ、その日にやりたいこと等利用者と相談して希望に添えるよう支援している。	※	ホーム内での過ごし方への支援は可能だが、地域の中において自分の生活ができる支援については検討を要する。
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			調査訪問時、利用者のお一人が「今日は、お客様が見えるので、エプロン等せず、おしゃれしてお待ちしましょう」と、素敵なブレザーをお召しになり迎えてくださった。職員は、利用者個々の考え方やペースを大切に支援できるよう努めておられる。		
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節の洋服は利用者が選択し、化粧水など基礎化粧品を行い、髪型も皆と話をしながら、まとめている。個々の希望により美容院の利用も行っている。	※	日常普段のおしゃれへの関心を持ち始めているが、外出時へのおしゃれにも興味が示されるよう支援していく取り組みを行いたい。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたい食事内容を尋ねたり、味見をお願いしたり、食事前の関わりや、準備、片付けを一緒に行っている。また、食後にはゆったりとする時間を持ち、食事の余韻を楽しむ時間を持っている。 (外部評価) 調査訪問時、職員が利用者にお寿司の具の切り方等を教わりながら、一緒に準備されている様子がうかがえた。又、利用者のお一人は、配膳時も皆に行き渡っているかを細やかに気配りされ、皆で和やかに話を交わしながら食事をされていた。	※	食べたい物への興味を思い起こす声掛けや視覚的促し等取り組みを行いたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 各利用者の希望に応じ、お酒、飴など日常的に楽しめるよう支援している。	※	自ら訴える方の嗜好は確保できているが、全ての方が十分に満足できているとは限らず、個々に合わせたアセスメントにより、全ての利用者が日常的な楽しみが持てるよう支援していきたい。
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 各利用者の排泄パターンを把握し、これに基づきトイレ誘導を行っている。	※	各利用者の排泄パターンに応じた下着の選択を行い、おむつの使用を減らす取り組みを行いたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日入浴の声掛けを行い、各利用者の希望に添える体制をとっている。入浴期間が長い方においては、職員間で話し合い、入浴が楽しめるよう調節をしている。	※	入浴を身体清潔保持のみではなく、生活の中でのくつろぎとしていただけるような環境整備へと取り組みを行いたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の入浴の際には「湯加減はいかがですか」「お背中流しましょうか」と声かけされたり、入浴剤を工夫される等、利用者がゆったりとお風呂を楽しめるよう支援されている。入浴を嫌がられる方とは、一緒にお風呂をお掃除される等、お風呂に関心を持ってもらえるよう場面作りされることもある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			各利用者の体調や生活に合わせ日中休息できるように支援している。また、夜間の就眠環境を整備することにより、安心して眠れるように支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者にもよるが、得意なことが日常の生活に活かされるよう、掃除洗濯、庭や畑仕事など役割を持ち楽しみや気晴らしへの支援を行っている。	※	利用者すべてが、気晴らしや楽しみ事につながる役割を持ち、生活に張り合いが持てる支援を行っていききたい。
			(外部評価)		
			料理や洗濯等の家事、園芸や草むしり等をされる方がおられる。新聞を読む際に「お悔やみ欄」を毎日見られる方もある。	※	事業所は、利用者一人ひとりの「人生の継続性」を大切にされており、今後も、一人ひとりの生活歴等を活かした利用者個別の支援に取り組んでいきたいと考えておられた。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者の中には家族の同意を得て少額のお金を持参している方もいる。買い物などその中から支払えるよう支援している。	※	利用者が自分で金銭のやり取りを行う機会を設け、使うことへの支援を行っていききたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			外出の希望を尋ね支援を行っている。	※	一人ひとりが楽しみの一環として外出できるように、地域の中で見守られるよう取り組みを行いたい。
			(外部評価)		
			月に1回、ドライブ等、外出の機会を作っておられる。5月は、奥道後のバイキングやお花を楽しまれる予定とされていた。地域のスーパーへ歩いて出かけたり、近所の神社へ参詣される方もおられる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			月に一度の外出行事は近隣に留まっている。	※	個別あるいはホーム全体として出かけられる機会を検討していきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			個々の希望に応じ、電話や手紙のやり取りは行えるよう支援している。	※	電話や手紙という連絡手段への訴えが少ない方などは意思表示の支援を行い、希望に応じた支援が行えるようにしていきたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間の取りきめはなく、自由に訪問され、近況報告や、日常会話をしている。居心地のよい時間を過ごされるように配慮をおこなっている。	※	多くの方は、各利用者の居室にてゆっくり過ごされるが、面会スペースはハード的に困難であるため、特に設けていない。しかし、常に居心地の良さを追求し、考慮していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者および全職員は身体拘束に対する理解を深めるとともに、スピーチロックを行わないよう取り組みを行っている。	※	状況により、未だスピーチロックとなりうる場面について、検証や研修を重ね身体拘束を行わない取り組みを行っていく。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
			個々の利用者の状態に応じ、対応策を講じており、日中玄関は開封されており、各居室には鍵はかけていない支援を行っている。		
			(外部評価)		
			日中は事業所の玄関、門扉には鍵をかけず開放されており、利用者が自由に出入りしやすいよう、雰囲気作りにも努めておられる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)		
			リビングにてホーム内を見回すことができ、また利用者の所在確認の把握を行えるようにしている。また、状態に合わせ、安全面の配慮を行うよう取り組みを始めている。	※	安全面の状態把握や配慮について、全職員がプライバシーに配慮しながら、行えるよう取り組みを考えている。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)		
			注意の必要な物については職員間にて認識し、注意喚起をすることにより、利用者の状態に合わせ選別し危険のないように支援を行っている。	※	今後利用者の状態変化に合わせ、新たに注意が必要になる危険物のアセスメントやモニタリングにて、その時その人に合わせた物品の提供に努めていきたい。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)		
			各利用者の状態に応じて職員間で話し合い、予測される事故については注意喚起を行い、事故防止に取り組んでいる。	※	事故防止のための知識を深め、ヒヤリハットなどへの取り組みにより、日常に潜む事故を未然に回避する取り組みを検討中である。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の対応としてマニュアルが整備されている。応急処置や初期対応については定期的なミーティングにて話し合いも機会を持っている。	※	緊急時の対応をイメージトレーニングする機会や、シュミレーションを行う研修を検討中である。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時対策について職員間で話し合いを行っている。	※	消防署の協力にて避難、通報、消火訓練を実施する予定である。また、運営推進会議にて近隣住民との協力体制についても引き続き話し合いをしていく。
			(外部評価) 利用者と共に、避難訓練を実施された。運営推進会議時には、災害時等には、協力をいただけるようお願いをされている。		いざという時に、利用者が全員、安全に避難できるように対策や訓練を重ねていかれることが期待される。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族へは訪問時あるいは電話連絡にてリスクの説明を行い、理解が得られるように行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 各利用者の既往や現疾患の把握を行い、毎朝のバイタル測定より、日常生活での異常を早期発見に努めている。	※	状態変化の早期発見や対応が行えるよう研修を行い、状況判断や対応へリンクできるよう取り組みを行っている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者の服薬資料作成はされており、また服薬時には職員が一人一人手渡し、服用確認を行っている。	※	薬に関する目的や副作用などの理解を深める研修を、継続的に重ね、服薬の支援を行う取り組みを行っている。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 利用者の状態把握を行い、個別に合わせた対応を取っている。牛乳を飲む工夫や運動、笑い、歌を歌うなど楽しく働きかけをしている。	※	便秘の対応として時に浣腸の使用があるが、極力使用せず、楽しい働きかけを増やしていきたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者の状態に合わせ、声掛けや見守り介助を毎食後に行っている。	※	毎食後に口腔内の清潔保持がおこなえていない、利用者もいるので、まずは職員がモデリングし、清潔保持の動機付けを行う取り組みを検討中である。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の食事量をチェックし、毎月の体重測定より食事量の確保を行っている。また利用者の状態に合わせ食事形態を変えたり、水分摂取が行えるように支援している。 (外部評価) 職員は、利用者個々の食事量を把握し、必要摂取カロリーに配慮し支援されている。お茶の時間は、コーヒーやホットミルク等、好きなものを飲めるよう用意されている。宅配の牛乳を個人で取っておられる方もおられた。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に関するマニュアルは整備されており、予防としてまな板などの調理器具の消毒を毎晩行っている。また、利用者や職員はインフルエンザの予防注射をおこなっている。	※	感染予防について研修を重ね、徹底した感染予防が行えるよう取り組みを行っている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や布巾など毎晩漂白し消毒している。また冷蔵庫の整理整頓も心がけている。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 民家の玄関をそのまま使用しているため、玄関先のプランターに咲き誇る花が一層の親しみを醸し出している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 身近に人が感じられる空間ではあるが、生活感や音、においなど、また生活の音が居室に届き、生活感が途切れることがない。さらには天窓より自然採光が得られ屋内にしながら、自然を身近に感じることができる。 (外部評価) 利用者が丹精された季節の花が食堂のテーブルに生けられていた。庭にはメダカが泳ぐ池もあり、利用者は四季折々の彩りを楽しんでおられる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにて利用者が過ごされる時が多いが、縁側などお独りで過ごされる空間もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者はそれぞれになじみのタンスや調度品などを居室に置き、落ち着いて過ごせる部屋づくりの工夫をしている。	※	利用者の中には持ち込みの家具等少ない方もいるが、その方々への取り組みを検討している。
			(外部評価)		
		居室には、テレビやタンス、椅子等が置かれ、ご本人とひ孫さんとの写真入りのカレンダーやお守り、庭に咲いているお花を飾っておられる方もうかがえた。			
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎日定期的に換気を行うように注意を促し、利用者の状況に応じ換気を十分に行うよう心がけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			民家を活用することにより、段差や玄関先など違和なく生活リハビリとされている。昔ながらの建物はシンクの高さや浴槽の深さなど、有存機能の再活用するのに適している。	※	利用者の状態変化に合わせ、環境面の見直しは必要ではあるが、身体機能の低下を予防するために、建物内部は適していることを利用者にも理解していただき予防対策の取り組みとして行っていきたい。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各利用者の状態把握を行うことにより、混乱や失敗を防止し自立できるように見守りや声掛けを行っている。	※	今後利用者の状態により、随時不安のない生活をサポートする内容について検討し、支援を行っていく。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の周りには畑や庭園があり、畑作業や縁側での外気浴を行っている。また利用者の希望に添いお参りができるように祠を設置している。		

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	日々の会話の中などから、利用者の思いや願い、暮らし方についての思いを知り、時間をかけゆっくりと信頼関係を築いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	利用者と職員は縁側でゆっくり日向ぼっこをしたり、朝には広告を見ながら過ごしている。また、散歩に一緒に行くなどしながら、時を一緒に過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	日常生活の中でひとりひとりその人なりのペースにて、生活されることが多くなっている。しかし生活全てにわたって行われいるとは限らず、今後さらに利用者主体のペースでの生活支援を行いたい。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	日常会話や同じ作業をしているときの笑顔に、喜びを感じていると思われるが、潜在される感情に目を向け、現状に自己満足することなく、支援していく。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	各利用者の希望に添い、美容院や散歩、お買いものをされている。しかし、全ての利用者が行きたいところすべてに行くことにはまだ遠い。今後の取り組みとしていく。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	ご本人の希望する病院への通院治療が可能とされ、健康不安が生じた場合には症状に添い専門医への受診を行い対応している。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	利用者のその時々々の要望や訴え、また状況に応じその都度対応を行っている。現在は原因をアセスメントし、原因解消するための取り組みを行っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	来所される家族へ、利用者の近況報告や相談を行う中で相談を行うことがある。今後全職員が多様な面での相談に応じられる体制作りを整えていく取り組みを行う必要がある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	グループホームには家族の方の来所は多い。しかし、近隣の方、利用者の知人の方の来所が自由に行えるような環境を整えていく必要がある。

(自己評価)

特定非営利活動法人 JMACS